

令和6年度第10回合志市教育委員会会議録

- 1 会議期日 令和7年1月30日（木）
- 2 開議時刻 午後1時30分
- 3 会議場所 合志市役所 2階 庁議室
- 4 出席委員 委員 高本孝一
委員 坂田由美子
委員 林田新也
委員 鷹木 愛
- 5 欠席委員 なし
- 6 職務のために出席した者
教育長 中島栄治
教育部長 岩男竜彦
学校教育課 渚上佳宏 教育審議員
小林信一 指導主事
西和佳子 指導主事
末永 舞 課長
歌野雅文 課長補佐
生涯学習課 牧野淳一 課長
人権啓発教育課 田中政吉 課長

●中島栄治 教育長

それでは令和6年度第10回教育委員会会議1月定例会を始めます。

新しい年になり、今年初めての教育委員会会議ですが、学校ではインフルエンザの学級閉鎖が見られるようになりました。また、中学校は入試が始まっております。

それでは会議に入ります。まず会議録の署名者の指名ですが高本委員、林田委員よろしいでしょうか？

では続きまして、前回会議録の承認をお願いしたいと思います。会議録等で何か訂正等はありませんでしょうか？

《委員全員、了承》

では、ご承認いただいたものとします。

続いて日程1、私からの報告です。

1月6日 仕事始め式。市長訓示等があり、午後から庁議及び政策推進本部会議でした。

1月8日 管内教育長会議。内容についてご説明します。所長のご挨拶の中で、主に不祥事の防止に向けてということでお話がありました。県立学校で、様々な事案がありました。最近では、先生の自転車飲酒運転がありました。これを受けて主に飲酒運転の根絶が強くご説明がありました。今はウェブツール等で飲酒量から運転してはいけない時間を割り出すものもありますので、その様なものを使って飲酒運転の根絶に向けて指導を徹底して欲しいとのことでした。

続いて県の白石教育長年頭挨拶からということで、第4期熊本県教育振興基本計画が出ております。「変化の激しい時代に対応した質の高い教育の推進」、「共生社会の実現に向けた教育の充実」、「世界に羽ばたく志ある人材を育てる魅力的な学校作り」、「活力あふれる熊本の実現に向けた文化・スポーツの振興」、それから「災害からの復旧・復興および記憶の伝承」、「こどもまんなか視点での教育者の推進」というようなお話がありました。教育振興基本計画をよく眺めていきますと、県立高校で中心的に取り組むことへ向けて、まずその基盤作りを義務教育の中では考えていかなければいけないのかなと受け止めているところです。

次に、働き方改革のお話の中で白石教育長も心配されてるのは、先生方が健康を害するような働き方がそのままになっているので、肉体的な病気だけでも早期発見し、早く回復できるような再点検をしてほしいというようなお話があったそうです。

続いて、学校の教育活動の進捗について3点の検証の願いがあったそうです。まず、今年度の課題に向けた共通実践が何だったかということ。また、共通実践の結果、どのような成果があり何が課題だったのか。それを受けて来年度どのような取り組みが必要なのかという3点を学校教育活動で取り組んでほしいというお話だったそうです。

次に人事異動関係について、今後2回のヒアリングがありますが、確認が必要なことについては事前に学校が本人と確認しながら進めていただければと。

また、新規採用は新大卒が採用者の中で50%を超えています。2人に1人は未経験の方が学校に採用されるという事で、丁寧な対応をお願いしますというお話がありました。

管理職採用選考結果については、合格率は約6割。これは以前に比べたら非常に高い数字です。以前は大体管理職合格が10人に1人か、その程度の割合でした。それが6割は合格するということなので、教育委員会としてはやはりしっかりと校長先生たちと連携・連絡をとりながら、校長先生たちも育てるといような視点が必要になってくると感じたところです。

その他で管理関係からは事故・不祥事防止、人事異動その他について説明があったところです。以上、管内教育長会議の内容です。

1月10日 市校長会。校長会の内容についてご説明します。

私からは、教育委員の皆さんにもご参加いただいたことのは作品コンクール表彰式。9,000点近くの応募があつて、審査していただいた方には本当にありがたかったなと思います。このコンクールも定着してきたということかと思えます。また、学校論文に関しては本年度から形式を決めました。簡略化した形で募集しましたところ、全学校から提出いただきました。

嬉しい話ということで紹介しましたのが、ふるさとかるたの活用です。

ある地域の方からの話なんですが、正月に家族とふるさとかるたで遊んでいたら、帰省した親戚がとっても合志市を懐かしく感じた。また、別の方で合志市に引っ越してきた人が、こども達が学校でふるさとかるたをして遊び、越してきたばかりだけど、ここが本当に自分の故郷になるのかなど。こども達がかるたをしながら、こども達にとって合志市が故郷になっていくのではないかと実感できたということでお話を聞きました。そのことを校長先生にもお伝えしたところです。

それと、落ち着いた交流学級の実現ということで、転入された方で他市では支援学級に在籍しており、交流学級に行くと、とてもうるさくてワイワイしていて不安になって、その雰囲気も嫌で学校に行きたがらなくなっていたのが、合志市に引っ越してきて、特別支援教育の先生方が良いというのはありますが、交流学級に行ったときに黙想で始まり落ち着いて授業が行われているので、本人が嫌がらなくなった。それで登校渋りが減ったので、合志市に引っ

越してきてよかったというお話をいただきました。

合志市は通常学級でもインクルーシブ的なところと言うと、こども達が落ち着ける環境をみんなで作ろうとしているところはあるがたいというお話でしたので、校長先生方にもご紹介しました。

次に、12月24日に竹田麗央さんのふるさと大使委嘱状交付式が行われましたが、その際、市へ寄附金の贈呈がありました。その話を彼女の出身小学校の校長にお話ししました。校長先生が竹田麗央さんの小学校6年生のときの卒業作文を探して読んだところ、その中に「私はプロゴルファーになって賞金女王になり、将来、市や様々な困ってる人に寄附のできる人間になりたい」と書いてあったそうです。ゴルフの神様がいるんだったら、神様に微笑まれるような生き方、考え方を彼女が知っていたのかなと感じました。今後もぜひ応援していきたいなと思っていますところです。

それから人事異動関係では、まずは厳しい支援学級の設置状況のお話をしました。最も厳しかったのは、ある学校で支援学級に4人在籍をさせる予定でしたが、ここに支援学級が開設されませんでした。また、別の小学校では弱視学級に在籍していたこどもが、中学校に進学する場合、弱視学級が無ければ通常は新しく作ります。この部分が配属されないという事です。

また、リアルタイムの情報交換というのは、児童生徒と教職員の情報です。まず、児童生徒というのは、先ほどの学籍です。小学校から中学校に進学する際、私立学校へ進学を考えて合格はしたけれども行かない、又は私立に進学するなど様々ですので、数の確認をまずしっかりしてほしいという事、また、先生方の事情が刻々と変わります。特に結婚や出産、それから先ほど言いました子や親の介護という家庭的な個別の状況がありますので、そこをリアルタイムに把握してほしいということでお話をしました。

また、非常に厳しいことですが、管理職は思わぬ異動もあり得るという事をお伝えしました。特に菊池管内を見たときに、県内様々なところから来ていただいています、その方が行政に出ることでの異動もあり得ます。そのような意味で全ての方が異動の準備をお願いしますと話しました。

後期後半に共通実践をお願いし、継続していただいていると思っていますが、本当に出来ているのか、もう1度、原点に立ち返ってチェックをしてくだ

さいとお願いしております。というのも、私が気になってるのは、机・椅子の並べ方で、班活動的にこども達が横を向いた状態で座らせて授業を行う風景を見ましたので一斉授業をするときには、必ず班は解体するということを徹底して欲しいとお願いしたところです。

それと学校運営協議会の活用というのは、以前は学校の現状などをこの運営協議会でしっかり説明をなさいというような指導でしたが、現在はこの協議会で協力依頼を行う。こんなに困ってますから、これは地域でお願いしますという協力依頼を行う。合志市版の学校運営協議会を運営していただきたいと話をしました。例えば、制服検討委員会を別に立ち上げるのではなく、これをこの協議会で話し合ってもら。中学校の部活動検討委員会、これも意見として出してもら。このように、学校から協力の依頼をする位置づけに変えてほしいというような話をしました。

1月11日 市の健康カントリーマラソン。カントリーパークで開催されました。午後から合生地区のどんどこや。こども達の笑顔が良かったです。

1月12日 消防出初式。午後からは20歳を祝う会。今年も思ったのは、例年、新成人の皆さんがきちんと座ってます。数年前、私がこの職に就く前は、一番厳しかったです。10年前ぐらいがとても厳しかったですね。

警察にも出動してもらわないといけないような状況だったので。それと比較すると非常に落ち着いた良い祝う会でした。

1月15日 庁議と政策推進本部会議。

1月18日 気づき・うなずきフェスティバル。

1月19日 合志小学校150周年記念式典。メガネのヨネザワの米澤会長から講演がありました。ハンデを背負いながら、自分にできることにこだわり、いろんな人に配慮しながら眼鏡屋を立ち上げたっていうような話を聞くと、この人は筋の通った生き方をされてきたんだなと思いました。最後に働き方改革に触れられた部分がありました。働き方を改革するけど、働きがいがなくなるような改革はやはり間違いだろうと。適当にしておくとかよいという考え方では、確かに働き方の改革はなるかもしれませんが、働きがいが無くなった、生きがいであったり、自分のプライドを無くして働き方改革をするのはどうかと、お話を聞いて感じたところでした。

午後からバンドフェスティバル。御代志市民センターで開催されました。慶誠高校吹奏楽部の演奏はとても迫力がありました。こども達もいい経験・体験ができたのではないかと思います。

1月20日 全員協議会。午後、県市町村教育委員大会。ご出席ありがとうございました。

1月22日 菊池地域人権・同和教育研修会が菊池市で開かれました。吉岡人権教育指導員が自分の体験や経験を基にお話をさせていただきました。とても発表が良かったということで、参加した方からお聞きしたのは、轟会長のまとめの言葉で「今日私は協力者でここに来ています。部落差別を始めとする様々な差別をなくす協力者としてきています。今日参加した皆さんが協力者になっていただくのが一番です」という言葉に皆さんに心を打たれたと評判になっておりました。

午後、道德教育の講演会。楓の森小学校で開催されました。

1月24日 ライオンズクラブ30周年記念式典のご案内にお越しいただきました。

1月25日 市ことのはコンクール表彰式。大変お世話になりました。

1月28日 教育長・校長異動ヒアリング。

1月29日 合志市歴史資料館記念講演会。中学生も参加して少し難しかったと思いますが、きちんと聞いていました。

以上、私の報告となります。何かご質問等ありませんか。

それでは報告事項等に移ります。2月の行事予定についてお願いします。

● 渕上佳宏 教育審議員

2月4日 市校長会議。

2月6日 地域学校協働活動に関する講演会。

2月15日 人権フォーラム。教育委員の皆様にも案内があっているかと思っています。

2月21日 市初任者研修報告会。引き続き市教育論文の表彰式。

後ほどご承認いただきたいと思いますのですが、２８日が教育委員会になるというところでお考えいただければと思います。以上です。

●中島栄治 教育長

まず最初に、次回の教育委員会議は２月２８日金曜日の１３時３０分ということですのでよろしいでしょうか。

《全員、了承》

では、お願いします。

続きまして、その他に移りたいと思います。生徒指導についてお願いします。

●西 和佳子 指導主事

１２月末のこども達の様子をお伝えしたいと思います。長期欠席の児童生徒数が１２月末で２７９名となりました。

そのうち不登校数は２２４名、先月よりも２７名増加しております。

ただ、内訳については、直近２ヶ月連続でひと月の欠席が７日未満の児童生徒数が２７名と、改善傾向の児童生徒が見られます。学校が丁寧に一人ひとり関わっていただいているということがわかります。

次に、不登校傾向児童生徒数です。１２月末では２２３名でした。小中学校の内訳は小学校が８５名、中学校が１３８名となっております。

民間施設等利用児童生徒数は１１月と変わっておりません。また、本日、中学校で１人、１月からフリースクールに通い始めたという連絡が入りましたので、見学に行ってきたところです。

適応指導教室の利用児童生徒数は１２月末で３３名となりました。

１ヶ月以上会えていない児童生徒数は１２月末で３名、小学生が２名、中学生が１名いました。

小学生１名は児童相談所も介入して家庭的に見守りが必要なところです。

中学生に関しましては、中学２年生の生徒で、修学旅行に本人は行きたいと

思っていましたが修学旅行が近づくにつれて気分の落ち込みが見られ、当日は結局行けなかったという生徒がおられます。ここも丁寧に担任の先生や学校全体で関りを持ち、見守りをされています。

最後ですが、いじめの認知件数です。12月末には4件の報告がありました。小学校から1件、中学校から3件で、いずれも嫌なことを言われたり、されたりしたという報告でした。累計では9件になっております。

この新規の4件のうち、12月は心のアンケートが学校でありましたので、そのアンケートの中から小学校1件、中学校1件の報告をいただいております。以上です。

●中島栄治 教育長

何かご質問ありませんか。

毎年増えてきていますから、本年度が過去最高になっています。

特に気になるのは、小学校1年生の17人、2年生2人、小学校の低学年でね、もう既に不登校気味というのは、以前は見られなかったと思います。

教育委員会、学校の担任の先生も取り組みをされてると思うんですが、やはり家庭支援、子育て支援といいますか、子育てをしている家に対しての家庭教育力の向上など様々な支えでケアをしていかなければならないのかなと思います。では次に移りたいと思います。

合志市立小中学校卒・入学式の教育委員会告辞についてお願いします。

●歌野雅文 課長補佐

前回、卒業式・入学式の出席校を案内させていただきましたが、今回、告辞案を作成しております。内容をご確認いただき、修正等があれば2月下旬までに担当の私までお知らせください。以上です。

●中島栄治 教育長

告辞は学校にも渡しておいてください。他のご挨拶をされる方と内容が重複しないように。

それではその他、皆様からごさいませんか。

●高本孝一 教育委員

ここで話し合うべきことかわかりませんが、20歳を祝う会のアトラクションで、出身中学校別の対抗戦がありましたよね。

あのときにステージに上った先生たちの数。合志中や西合志南中も結構な先生が参加されていたんですけど、西合志中学校は4人でした。他校からすると少なかったと思います。あの場であえて中学校別にする必要があったのかなと。あの会場に集まっている新成人は全部合志市で育ったこども達なので。私が保護者だったら、なんでうちの先生たちは少ないのかと思うと思います。思い返せば西中は管外から来られる管理職の先生が多いので、その方たちは当然、地元や他の成人式などに出席されるから、なかなか合志市の成人式には出席できないと思うんですよね。そういう姿を見ながら、卒業生がどう思ったのか、保護者はどう見てるのかと考えるときに、少し心がざわつきました。今後はその辺りの配慮も必要かなと思いました。

●中島栄治 教育長

実行委員のこども達から案が出た時に、私も学校対抗色が強いと思いましたので、どうかと思いましたが、実行委員からその後の同窓会にも来ない人もいるから学校の特色を出したいと意見を受けまして、承諾したところもあります。連絡先がわかった先生に関しては全てご案内はしてるところですが、委員も言われたように様々なご事情があり参加できないなどで先生の参加人数に差が出る結果になってしまいました。今後は、提案がありましたらその付近のアドバイスもしていきたいと思います。

それでは他にご意見ありませんか。

●鷹木 愛 教育委員

先ほど教育長から家庭教育のケアというお話が出ましたが、学校でお会いする保護者の方達や地域の方からとても困っているという実態を聞く機会が増えました。少しでも、何か雑談ができるような、型にはまると来にくいけれども学校施設なども開放して、雑談ができるような何か寄り所になる、お母さん達のそういう場所が作れたらいいなと考えているところです。

また、ことのはコンクールについては今回の審査員で参加させていただきま

した。表彰式に私の同級生や私のこどもが赤ちゃんの頃に一緒に遊ばせてたお母さん達が参加されていて、皆さん良い式典でしたと言われていました。お子さんが前に出るタイプのこどもでは無いというお母さんが、今回表彰をされたことで、お子さんがとても自信になったということで。とても喜ばれておりました。合志市の取り組み、素晴らしいなと思って、これが県内又は県外へ広がって欲しいし、言葉の教育を大事にしていきたいなと思ったところです。

●中島栄治 教育長

ありがとうございます。

林田委員、何かございますか？

●林田新也 教育委員

中学校３年生の不登校傾向の生徒達の進学先はもう決まっていますか？

●瀧上佳宏 教育審議員

具体的に何人決定したかはまだ把握していませんが、通信制学校に進学する生徒が結構多いです。通信制学校を希望する生徒は少し早めに動いた方が良いという話も聞きます。生徒自身で進学先は考えて学校がしっかり生徒や保護者の気持ちを聞きながら、進路については話をされています。高校には進学しないというお話はまだ聞いておりません。

現在は通信制の学校が増えましたし、一般入試が始まるこの時期には進路が決定している生徒は多いです。

●中島栄治 教育長

進路先がきちんと決まっているかに関しては、私達も学校に指導していきたいと思います。

それでは以上をもちまして、令和６年度１０回教育委員会議１月定例会を終わります。お疲れ様でした。

～ 午後２時３５分 終了 ～